

# 言語に関する資質・能力（検討のたたき台）

平成27年12月18日  
 教育課程部会  
 言語能力の向上に関する特別チーム  
 資料3

## 個別の知識や技能 （何を知っているか、何ができるか）

## 思考力・判断力・表現力等 教科等の本質に根ざした見方や考え方や （知っていること・できることをどう使うか）

## 学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの （どのように社会・世界と関わり よりよい人生を送るか）

### ○言葉の特徴やきまりに関する知識・技能

- ・言葉の働き、役割
- ・文字や符号（平仮名、片仮名、漢字、ローマ字、アルファベット、句読点、かぎ（「」）、終止符、疑問符、コンマ、引用符、感嘆符等）
- ・音声（アクセント、発音、イントネーション、区切り等）
- ・語の意味、慣用表現
- ・語彙
- ・文の構成、文法  
 （主語と述語、修飾と被修飾の関係、指示語や接続詞、単語の活用など）
- ・文章の構成や組み立て
- ・表現の技法や工夫

### 【知的活動（論理的思考とそれに支えられた創造的思考等）の側面】

- 以下の力を総合的に働かせて、構造と内容を把握する力
  - ・書き手や話し手の意図や立場を理解する力
  - ・場面や文脈を理解する力      ・次の展開を予測する力
  - ・事実と意見を区別する力
  - ・文と文の関係や文章全体の構成を理解する力
  - ・書かれて（話されて）いる情報と情報の関係を理解する力
  - ・既有知識に基づいて、情報を補足・精緻化する力      など
- 構造と内容の把握によって獲得した新しい情報を、既に持っている知識や経験・感情に統合し、全体として首尾一貫した意味内容を再構築・構造化する力（解釈・考えを形成する力）
- 以下の力を総合的に働かせて、表現（推敲）する力
  - ・命題を設定し、伝える情報を取捨選択・構造化し、内容・構成・表現を検討する力
  - ・読み手や聞き手を意識・想像する力      ・場面を理解する力
  - ・自分の意図や立場を明示する力      ・事実と意見を区別する力
  - ・文と文の関係や文章全体の構成を明確にする力
  - ・書く（話す）情報と情報の関係を明確にする力      など

### 【感性・情緒の側面】

- ・相手や作品の中の人物等の思いや感情、作品の内容・表現などを  
 感じ取ったり、感動したりする力
- ・言葉から事柄などを推し量り、自由にイメージを思い描く力
- ・言葉によって思いや感情を意識化し、感性をより高めたり、感情の  
 表出をコントロールしたりする力      など

### 【コミュニケーションの側面】

- ・知的活動や感性・情緒に支えられたコミュニケーションする力
- ・読み手や聞き手を意識・想像する力
- ・相手に配慮した表現をする力      ・相手の視点を考慮して展開する力
- ・伝え合うことで自分の考えを広げたり深めたりしたり、協働して考え  
 を形成したりする力      など

- ・言葉を通じて、自分のものの見方、考え方を深めようとするとともに、考えを伝え合うことで、集団の考えを発展させようとする態度

- ・様々な事象に触れたり体験したりして感じたことを言葉にするとともに、それらの言葉を互いに交流させることを通じて、心を豊かにしようとする態度

- ・言葉を通じて積極的に人や社会と関わり、自己を表現し、他者を理解するなど互いの存在についての理解を深め、尊重しようとする態度

- ・言語文化に対する関心